

※ 恐れ入りますが、部署内での回覧をお願い致します。

平成28年2月24日

各 位

公益財団法人食の安全・安心財団
理事長 唐木 英明

第20回 公益財団法人食の安全・安心財団意見交換会のご案内

地域資源から地方創生を考える意見交換会 ～地域食材の需要創造に向けた実需者と生産者の連携～

拝啓 貴社ますますご繁栄のことと存じます。

さて、当財団では、標記意見交換会を開催するはこびとなりました。

昨今、人口減少・地域間の経済格差等を背景に、地域活性化が喫緊の課題となっております。地域資源、なかでも伝統野菜あるいは特産品は地域の産地形成に寄与する可能性が大きいと考えられ、これら地方の食材は地域振興の大きな要として期待されているところです。

しかしながら、担い手不足、耕作放棄地・遊休農地等の増加、農業技術継承の課題など、伝統野菜など地域特産品の栽培・加工が継続して実施されるには大きな壁も存在しております。

消費者の国産嗜好の増加等も背景に、食品事業者の皆様にとって、国内産地との関わり方は、その地域における食文化の把握とともに、今後ますます重要な課題となっていくと考えられます。

本意見交換会は、地域食材の掘り起しを起点とした産地と実需者の連携事例から、地域における現状と今後の持続的発展に向けた課題、今後、どのようなことが必要なのかについて、幅広い関係者と情報を共有するとともに意見を交換するものです。生産者と実需者の連携を通じ、地方食材が地域に根付き地域の活性化へと発展していくには、どのような仕組みが必要なのか等について、ご参加の皆さまも交えてご議論頂きます。

ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

敬具

記

1. 日 時： 平成28年3月16日（水）14：00～16：30
2. 会 場： 世界貿易センタービル 38階 「フォンテーヌ」
〒105-6103 東京都港区浜松町2丁目4番1号
3. 参加費：無料

※ 恐れ入りますが、部署内での回覧をお願い致します。

4. 内 容

(1) 講 演

『6次産業化の取り組みでチャレンジ!! 徳島産』

林 香与子氏 (株式会社マルハ物産 代表取締役会長)

『野菜の中身を評価し伝統野菜(地方食材)を販売する』

丹羽 真清氏 (デリカフーズ株式会社 代表取締役)

『京都ブランドの確立に向けた取組み』

山田 敏之氏 (こと京都株式会社 代表取締役)

『「京野菜」の新たな戦略』

高橋 拓児氏 (京都料理芽生会 株式会社木乃婦 代表取締役)

『日本のとろろ文化と日本の農業に貢献する』

根岸 榮治氏 (株式会社ねぎしフードサービス 代表取締役)

(2) 会場参加者との意見交換

【パネラー】 根岸 榮治 氏
丹羽 真清 氏
山田 敏之 氏
高橋 拓児 氏
林 香与子 氏

コーディネーター

唐木 英明 (公益財団法人食の安全・安心財団理事長、東京大学名誉教授)

5. 申込方法：別紙申込用紙をFAX又はメールにて3月14日(月)までにお申込み下さい。

FAX：03(5403)1280

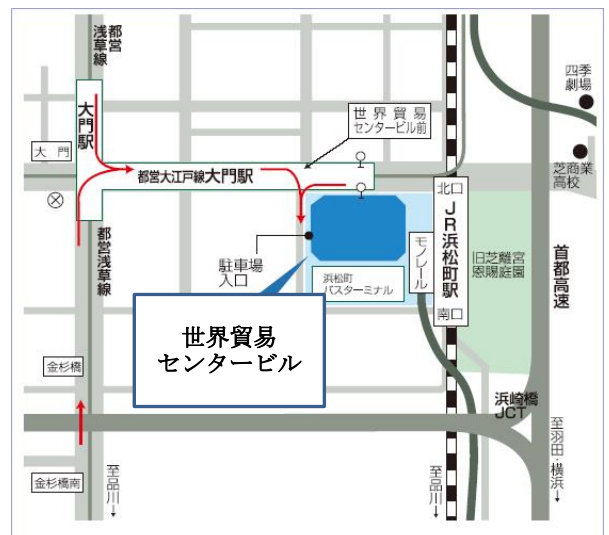
メール：info-anan2010@anan-zaidan.or.jp

- ・参加受付は先着順となります。参加者多数により参加いただけない場合は、3月15日(火)までに、ご登録いただきましたメールアドレスまたはFAX番号にご連絡いたします。
- ・ご参加いただける方には特段連絡等はいたしません。当日会場へお越しください。

お問い合わせ先：公益財団法人食の安全・安心財団 (Tel 03-5403-1064) 森川

【世界貿易センタービルへのアクセス】

- ・JR(山手線/京浜東北線)浜松町駅北口改札 徒歩1分
- ・東京モノレール浜松町駅と直結
- ・都営地下鉄(浅草線/大江戸線)大門駅と直結(B3出口)



※ 恐れ入りますが、部署内での回覧をお願い致します。

FAX: 03 - 5403 - 1280 (公財) 食の安全・安心財団事務局 宛

第20回 公益財団法人食の安全・安心財団意見交換会のご案内

地域資源から地方創生を考える

～地域食材の需要創造に向けた実需者と生産者の連携～

参加申込書

参加者のお名前	社名または所属団体名・役職名

(個人でご参加の方は、ご所属の団体等があれば、その団体名をご記入ください)

☆ご連絡先

恐れ入りますが、こちらから連絡する場合がございますので、下記にご連絡先をご記入ください。
個人でお申込みの場合は、TEL・FAX・メールアドレスのいずれかをお願いいたします。

ご担当者 _____

所属・役職名 _____

TEL _____

FAX _____

メールアドレス _____